

# 農業の新しい技術

No.558 (平成18年5月)

分類コード 02-04

熊本県農林水産部

## イチゴ「熊研い548」の夜冷短日処理 による早進化技術

農業研究センター い業研究所 作付体系研究室

担当者：木場達美

農業研究センター 高原農業研究所

担当者：榊 祐子

### 研究のねらい

本県で育成したイチゴ品種「熊研い548」（商標「ひのしずく」）は頂花房の分化がやや遅い特徴があり、分化時期が高温で経過する年には収穫開始が遅れ、また、年内収量も少なくなる。そのため、農家経営上あるいは産地の販売戦略上、早期に安定して花芽を分化させる技術が求められている。そこで、これまでに花芽分化促進法として他品種で実用化している夜冷短日処理の「熊研い548」における効果を明らかにするとともに、本品種に適する処理方法を確立する。

### 研究の成果

- 1．夜冷短日処理により「熊研い548」の頂花房の分化は安定的に促進され、年内収量は普通ポット育苗に比べ大幅に増加する。
- 2．平坦地域では、8月26日からの処理が果実肥大が良く本品種の大果性の特徴を示し、また、年内収量も多く適する。処理期間は21日程度となる。これより早い処理開始では果実肥大が劣り、年内収量も低下する。最終追肥時期は処理21日前が花芽分化が安定し、年内収量も多い。
- 3．高原地域では、8月5日からの処理が果実肥大はやや劣るものの年内収量が多く適する。処理期間は24日程度となる。最終追肥時期にかかわらず花芽分化は安定する。

### 普及上の留意点

- 1．検鏡により花芽分化を確認後定植する。
- 2．炭疽病が発生している場合には処理しない。また、処理期間中も炭疽病の防除を徹底する。
- 3．本試験は処理温度13（い業研究所）あるいは15（高原農業研究所）、8時間日長（処理時間17時～9時）で実施した。

[ 具体的データ ]

熊本県農林水産部

第1表 平坦地域における夜冷短日処理の効果 (い業研究所 17年度)

処理開始日 (月/日)	最終追肥日 (月/日)	定植日 (月/日)	開花日 (月/日)	頂花房 開花揃い率 (%)	収穫開始日 (月/日)	第1次腋花房 開花日 (月/日)	年内収量 (kg/a)	4月 まで 収量 (kg/a)	初期 1果重 (g)
8/12	7/22(21)	9/ 8(27)	10/11	100	11/ 4	12/15	68.8	379.4	16.8
8/12	7/29(14)	9/ 8(27)	10/11	86	11/ 4	12/18	59.1	379.9	17.7
8/12	8/ 5( 7)	9/ 8(27)	10/11	100	11/ 4	12/15	61.9	372.9	16.8
8/19	7/29(21)	9/12(24)	10/16	100	11/ 9	12/19	77.5	375.1	20.3
8/19	8/ 5(14)	9/12(24)	10/18	96	11/11	12/16	68.7	358.6	21.1
8/19	8/12( 7)	9/12(24)	10/18	70	11/11	12/25	44.5	330.4	20.0
8/26	8/ 5(21)	9/16(21)	10/21	96	11/16	12/18	83.4	357.6	22.7
8/26	8/12(14)	9/16(21)	10/23	89	11/16	12/22	74.0	371.8	22.9
8/26	8/19( 7)	9/16(21)	10/24	93	11/18	12/19	69.1	369.7	22.9
普通ポット(対照)		9/30	11/13	89	12/19	1 / 3	37.5	305.1	27.8

注) 花芽分化を確認後直ちに定植した。  
 最終追肥日の( )は処理開始前日数を、定植日の( )は処理日数を示す。  
 開花日および収穫開始日は50%の株で開花あるいは収穫が始まった日。  
 開花揃い率は最初の株が開花した日から15日以内に開花した株の割合。  
 初期1果重は各区の収穫開始から8日以内に収穫した果実の平均。

第2表 高原地域における夜冷短日処理の効果 (高原農業研究所 17年度)

処理開始日 (月/日)	最終追肥日 (月/日)	定植日 (月/日)	開花日 (月/日)	頂花房 開花揃い率 (%)	収穫開始日 (月/日)	第1次腋花房 開花日 (月/日)	年内収量 (kg/a)	4月 まで 収量 (kg/a)	初期 1果重 (g)
8/ 5	7/ 8(28)	8/29(24)	10/14	100	11/15	12/21	73.1	249.6	15.8
8/ 5	7/22(14)	8/29(24)	10/14	100	11/10	12/24	97.7	249.0	15.8
8/ 5	7/29( 7)	8/29(24)	10/15	100	11/10	12/25	85.9	244.8	16.5
8/12	7/15(28)	9/ 8(27)	10/21	100	11/25	12/15	41.2	237.2	18.6
8/12	7/29(14)	9/ 8(27)	10/21	100	11/25	12/15	41.9	263.1	19.3
8/12	8/ 5( 7)	9/ 8(27)	10/19	100	11/22	12/15	49.5	255.1	21.2
8/19	7/22(28)	9/13(24)	10/31	100	12/ 6	12/16	38.4	245.0	24.0
8/19	8/ 5(14)	9/13(24)	10/30	100	12/ 2	12/15	42.0	250.9	23.9
8/19	8/12( 7)	9/13(24)	10/30	100	12/ 2	12/11	42.4	274.9	24.0
普通ポット(対照)		9/20	11/15	100	1/ 2	1/ 9	6.9	273.9	27.5

注) 第1表に同じ。ただし、初期1果重は10日以内に収穫した果実の平均。



図1 現地で利用されている簡易夜冷装置